

Me Too! \ vol.1 /



特集

当院のリハビリテーションをご紹介します

どんなリハビリを しているの

コラム

栄養満点！栄養部コラム

ごはんのじかん



常に良質な介護と適切な医療サービスの提供を心がけています。

当院では専門医療機関で急性期を離脱した重症患者さんを積極的に受け入れております。脳卒中（脳梗塞・脳出血・クモ膜下出血などの脳血管障害）や高齢者の骨折などの病気・外傷の種類によっては後遺症による障がいが残るため、すぐに自宅に退院できずに困っている患者さんは少なくないのです。

このような患者さんは、転院後に急性増悪して全身状態が悪化することもありませんが、当院で治療可能な病状であれば、急性期病院と変わらない質の高い医療を受けることができます。また、専門医療が必要と判断すれば迅速に患者さんの病状にあった専門医療機関へ紹介いたしますので、安心して入院治療を受けることが出来ます。比較的全身状態が安定している患者さんは、自宅復帰や施設入所を目指して、経験を積んだ理学療法士・作業療法士・言語聴覚士達が中心となつて3ヶ月を目処に積極的にリハビリテーションを行います。あわせて合併症である糖尿病や

高血圧症などの慢性疾患のコントロールも行います。

これからも当院の理念である「いのち、ぬくもり、ふれあい」「常に良質な介護と適切な医療サービスの提供」を心がけ、地域に密着した病院づくりを目指して職員一同、日々努力してまいります。



院長
金銅 伸彦
Kondo Nobuhiko

外来のご案内

生活に密着する地域中核病院として、患者さんの立場に立った親切・安全な専門医療を提供します。

循環器科

心電図や心エコーなどの検査を行い、患者さんの症状・状態にあった治療を行います。「最近脈が飛ぶ」「検診で心雑音を指摘された」など、循環器疾患が原因でさまざまな症状が起こることがあります。小さな変化を見落とさず、何か気になることがありましたら、ぜひお気軽にご相談ください。



放射線科

当院ではエックス線撮影・CT撮影・透視検査を行っています。マルチスライスCT導入により極力患者さんに負担をかけることなく、短時間で広い範囲を細かく撮影することが可能です。またX線を読み取る部分をデジタル化することで、最適なコントラストに調整し、従来のX線フィルムより精度の高い情報を提供しております。



内科

内科疾患全般について広い視野を持って総合的に診療を行います。病気やケガの原因を的確に判断し治療を行います。時には思わぬ原因で引き起こされているものも少なくありません。他の診療科での診察が必要な場合には、その専門科に紹介するのも重要な役割です。今後地域のみなさんに安心の医療を提供できるよう、サービス・技術の向上に努めていきます。



消化器科

消化器内科は食道・胃・十二指腸・小腸・大腸などの消化管や、肝臓・胆道を主とした消化器疾患を対象に専門的に診断・治療を行います。腹部超音波検査や胃内視鏡検査、腹部CT等を用い、小さな病変も見逃さずきちんとした検査ができる体制を整えています。また、胃ろうの造設等も実施しています。



リハビリテーション科

神経、骨・関節、内臓疾患などにより何らかの障がいをもたらした患者さんに対し診断を行い、専門スタッフが治療・リハビリテーションを行います。理学療法士、作業療法士、言語聴覚士など多数在籍しており、機能改善やホームエクササイズ等、一人ひとりの症状・生活にあわせた専門的なりハビリテーションを提供いたします。



どんな？ リハビリを しているの

当院のリハビリテーションスタッフは、回復期リハビリテーション病棟をはじめ療養病棟や外来・訪問リハビリテーションの場で活動しており、入院中はもちろん、退院された後の生活もしっかりとサポートできる体制をとっています。また、患者さんやご家族のお話をじっくりと聞き、一緒に考え、一人ひとりに合ったプログラムや目標を立案し、患者さん主体のリハビリテーションを提案しています。

特に高齢者は生活する上で必要な能力が衰えがちです。歩く・食べるなど当たり前のことが可能な限り自身で行なえるよう、その方にとって最良のリハビリテーションを提供できるように心掛けています。

個別 リハビリテーション

理学療法士 (PT) ・作業療法士 (OT) ・言語聴覚士 (ST) が1対1で個別にリハビリテーションを実施します。運動機能や認知機能、嚥下 (飲み込み) 機能など患者さんの状態を総合的に評価し、多職種で話し合い共通の目標に向かって計画を立案し、最適な治療を実施いたします。



集団 リハビリテーション

マンネリ化しがちな入院生活の中で、少しでも楽しみや変化を感じていただけるよう、その時々季節に応じたレクリエーションを行っています。書初め、お花見、夏祭り、運動会など内容もさまざまです。普段からは想像できないような能力を発揮される方もいらっしゃるの、新しい発見の場にもなっています。



多職種との カンファレンス

リハビリテーション効果を最大限に引き出すために、看護・介護の専門職とチームを形成し、頻繁にカンファレンスを実施しています。積極的な意見交換を行い、患者さんの状況を把握し一人ひとりの目標やリスクを共通認識するとともに、患者さんの変化に迅速に対応できる体制を確立しています。



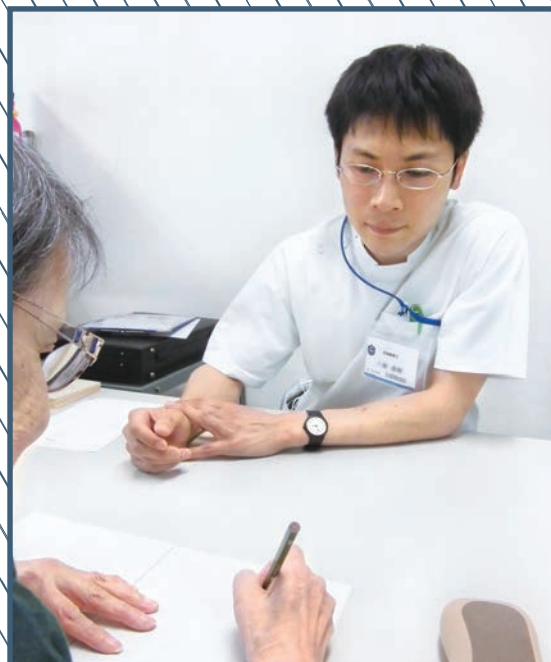
退院を見据えた 調整

必要に応じて入院後早期にご自宅を訪問し、家屋の状況や周辺環境の調査を行います。これらの情報をもとに、実際の生活環境に合ったより実用性の高い生活能力の向上を図るためのリハビリテーション計画を立案し、実施しています。また、住宅改修や福祉用具の利用などの提案もいたします。



外来(通院) リハビリテーション

退院後もスムーズに在宅生活に移行するため、必要に応じて外来リハビリテーションを利用いただけます。継続したリハビリテーションで機能回復を図りながら、在宅生活での問題点に対して具体的な指導も行っています。また整形外科疾患に多く見られる変形性関節症や肩関節、腰部に関するリハビリテーションも行っています。



入院から退院後まで

急性期病院での治療が終了してもリハビリテーションと治療が必要な時、回復期リハビリテーション病棟に入院することができます。もしもの時に備えて、覚えておきましょう！

回復期 リハビリテーション 病棟って？

脳血管疾患や骨折後に生じた身体の機能低下や能力低下に対して集中的にリハビリテーションを行う病棟です。当院では状態に応じて1日平均約2〜3時間のリハビリテーションを提供しています。日常生活動作や生活の質の向上はもちろん、患者さん一人ひとりのニーズに対応するためしっかりと情報収集を行い、具体的な目標を見据えた取り組みを心がけています。

また、実施の時間のみならず、他職種と連携し、生活の中でのリハビリテーションを実践しています。



入院中は どんなことをするの？

集中的にリハビリテーションを行う病棟ですから、患者さんの一日のスケジュールもリハビリテーションが中心となります。総合的評価を行い、理学療法士（PT）・作業療法士（OT）・言語聴覚士（ST）が必要に応じたリハビリテーションを実践しています。患者さん一人ひとりの目標が異なるため、実施する内容もさまざまです。集中的に言語聴覚士による摂食・嚥下練習を行ったり、作業療法士による復職にむけた作業練習や、必要に応じて理学療法士による自転車走行練習を行ったりと、多種多様な内容となっています。全ては「患者さん主体」の理念で取り組んでいます。

ある一日のスケジュール

- 7:30 起床
- 8:00 朝食
- 9:20 リハビリ（1時間）
- 10:40 入浴
- 12:00 昼食
- 14:00 リハビリ（1時間）
- 16:00 談話・休憩・自主練習
- 18:00 夕食・リハビリ
- 21:00 就寝



退院後もサポート

リハビリテーションセンターを ぜひご利用ください!



痛みや障がいから解放されるように
理学療法士・作業療法士・言語聴覚士が
サポートいたします。やりたいことを
精一杯やってみませんか?

【お問い合わせ】

06-6721-2721

受付時間 月曜～金曜 10:00～16:00

訪問リハビリテーション

介護認定で、要支援1・2、
要介護1～5と認定された方が
ご利用できます。

利用者さんのご自宅に訪問し、
身体状況・生活環境に応じた
リハビリテーションを提供いた
します。

利用者さんとご家族が、より
充実した生活を送ることができ
ようサポートいたします。

訪問日

月～土曜日

※祝日のご利用も可能です

訪問時間

9時～17時

訪問地域

東大阪市・八尾市

※その他のエリアもご相談に
応じます



当院では、退院後もその後の生活を
フォローできる体制を整えています。
「病院ではできていたのに、自宅では
できない、しにくい」「自宅でほぼ寝
たきりで通院は難しい」という方には
「訪問リハビリテーション」のサービス
のご相談をお受けしております。
ご利用できるのは介護保険認定を受け
られている方に限りますが、当院には
居宅支援センターもあり、専門のスタ
ッフも常駐していますのでご不明な
点はお気軽にお問い合わせください。

退院後のケアは？

入院のご案内

医療療養病棟 ・ 83 床 ・

急性期治療後の患者さんを専門的に治療する病棟です。病状が安定すれば在宅復帰を第一の目標とし、直ちに在宅復帰が困難な場合にはソーシャルワーカーが適切な施設やサービスをご紹介いたします。退院後も、誤嚥性肺炎や尿路感染などで治療を要する状態場合には、迅速に入院受入が出来るように体制を整えております。



ここが特徴！

- ・ 長期入院の患者さんも多く、患者さん一人ひとりと向き合って深いかわりを持った看護を提供
- ・ リハビリテーションが必要な患者さんには、期限を設けず積極的にリハビリテーションを提供
- ・ 余命期間に関わらず、終末期患者さんを積極的に受け入れ

回復期 リハビリテーション病棟 ・ 24 床 ・

脳卒中リハビリテーションを中心とした他職種参加の医療を推進し、チームアプローチの実践を徹底します。また、早期在宅復帰を目標に、質の高いリハビリテーションを提供します。

退院後には関連の施設・サービスと連携し、復帰後の生活をサポートいたします。



ここが特徴！

- ・ 患者さん本人が主体となるリハビリテーションを提供
- ・ 一人ひとりの生活リズムに合わせた時間設定により生活環境の再現が可能
- ・ 日曜・祝日や長期の連休でも毎日休まずリハビリテーションを提供

入院までの流れ

1 お問合せ・お申込み

患者さんの担当医、もしくは担当ソーシャルワーカーから当院の地域医療連携室あてにご相談ください。



2 Faxで必要書類の送付

入院相談に必要な書類は、お電話をいただいた際にお伝えいたします。

Fax 06・6721・1531



3 入院相談

相談員がご家族と面談し、退院後の方針やご希望をうかがったうえで当院での治療についてご説明いたします。



4 入院日の決定

後日、入院可能日時をご案内いたします。入院当日は、指定の時間に当院へ到着していただけますようお願いいたします。



教えて！

地域医療連携室

入院にはなにを準備すればいい？

入院時にご準備していただく物として、印鑑（認印可）・健康保険証・老人医療書・公費負担証・身の周りの必要な物（寝巻き等着替え・入れ歯・飲水用コップ・ティッシュペーパー・電気かみそり・運動靴等）が必要となります。

他医療機関よりご紹介の患者さんは紹介状、現在服用中のお薬がある方はそちらもあわせてお持ち下さい。

また、当院ではテレビ・ラジオのレンタルがございましたので、必要な場合は持ち込みをお願いしています。

私たちがお答えします！



病院について気になることを何でも解決します！
分からないことがあれば、
いつでもお気軽にお声がけください。

 06-6721-2721

受付時間 月曜～土曜 8:30～17:00

かかわる

People involved in medical care

人びと

リハビリテーション部



「自分らしさ」をめざして

当院には、理学療法士・作業療法士・言語聴覚士があり、365日患者さんの生活支援と早期在宅復帰を目指し、多職種協働による協力的なチームアプローチを実践しています。明るく、楽しく、愉快なスタッフが多いリハビリテーション科は、患者さんを中心にいつも笑い声が耐えませんが、しかし、治療に対してはもろん真剣です。患者さん一人ひとりに寄り添い親身になって、「自分らしさ」と「日常生活」を取り戻すお手伝いが出るよう、チーム一丸となって取り組んでいます。



-ST- 言語聴覚士

ことばによるコミュニケーションに問題がある方に専門的サービスを提供し、自分らしい生活が構築できるように支援する専門職です。また摂食・嚥下にも専門的に対応します。

-PT- 理学療法士

身体機能の回復だけでなく、寝返る、起き上がる、立ち上がる、歩くなど日常生活を行う上で基本となる動作の改善を専門に行います。また当院で日常生活動作(ADL)にも積極的に介入しています。

指を動かす、食事をする、トイレをするなど、日常生活を送るうえで必要な日常生活動作(ADL)を獲得するための治療を行います。仕事や趣味など、より個人要素の強いリハビリテーションを実施します。

-OT- 作業療法士

ごはんのじかん

食べることの大切さ

ヒトの体は使わないとどんどん衰えます。1週間寝たきりだと20%の筋量が失われるそうです。同じように腸も使わないとどんどん衰えます。これを廃用萎縮といいます。腸が衰えるとバリア機能が失われ、腸管内の細菌が体内に侵入するバクテリアルトランスロケーション(以下BT)という現象が起こります。本来無菌であるはずの体内に細菌が侵入すると敗血症(発熱や倦怠感)を起こしやすくなります。そして重症化するとショック状態となり多臓器不全へ移行し最悪の場合は死に至ります。点滴はエネルギー補給はできませんが血管内に直接栄養を入れる補給法であるため、消化吸収を必要としません。そのため腸の廃用萎縮によりBTを起こしやすくなるのです。もちろん絶対に腸を安静にしないといけない状態(重度の下痢や腸閉塞など)では点滴が適応ですが、それ以外の場合には腸を使った栄養補給法を考えなくてはなりません。

当院では「腸が使えるなら腸を使おう」を実践し、腸の廃用萎縮防止に努めています。口から食べられなくなった患者さんに対しては経管栄養を行っています。経管栄養も腸を使った栄養補給法でBTの防止効果があります。経管栄養には鼻からチューブをいれる経鼻経管栄養と手術でお腹に穴を開ける胃ろうなどがあります。食事される方と同じようにさまざまな食品を摂取していただくため、新鮮な肉や魚、野菜を使った手作りの経腸栄養剤を提供しています。



外来担当表

	月	火	水	木	金	土
午前	中島 梅田 奈良 (内科:交代制)	神山 (内科)	澤井 (内科) 植田 (整形外科)	森下 (内科)	平本 (内科) 植田 (整形外科)	奈良 和佐 銭谷 (内科:交代制)
午後	中島 梅田 奈良 (内科:交代制)	神山 (内科)	澤井 (内科) 植田 (整形外科)	森下 (内科)	平本 (内科) 植田 (整形外科)	—

※平成 27年 11月 1日現在

関連施設

弥刀デイサービスセンター

車イス対応の送迎車であなたのご自宅までお迎えにあがり、入浴・食事・レクリエーション・健康チェック・物療機器の利用などのサービスを行っております。

☎ 06-6725-6821 (8:30~17:00)

利用定員 15名

利用条件 要介護認定で要介護度1~5、
要支援1・2と認定された方。

弥刀介護老人保健施設

日常生活動作回復のためのリハビリテーションや、食事、入浴、レクリエーションなど、仲間と共に有意義な時間を過ごしながら、明るく楽しい家庭復帰を目指していただけます。

☎ 06-6721-1214 (9:00~17:00)

利用定員 60名

利用条件 要介護認定で要介護度1~5と
認定された方。

弥刀中央居宅介護支援事業所

弥刀中央居宅介護支援事業所では、利用者さんやご家族の方のさまざまなご相談や介護保険の申請のお手伝いや介護サービス計画の作成、サービス事業者との連絡調整や介護保険施設への紹介などを行っています。

☎ 06-6721-2721 (9:00~17:00)

利用対象

寝たきり、高齢者世帯、認知症高齢者、障害者、
独居高齢者、65歳以上の高齢者について心配事
や悩み事を抱える方、また介護保険サービスの
利用を考えている方など、どなたでもご相談
できます。



- 診療科目 内科・循環器科・消化器科・放射線科・リハビリテーション科
- 診療時間 月~金曜日 午前 9:00~12:00 午後 3:00~5:00
土曜日 午前 9:00~12:00
- 休診日 日曜・祝祭日・年末年始

〒577-0816 大阪府東大阪市友井3丁目2番13号
Tel.06-6721-2721 Fax.06-6721-1531
www.mitohp.jp info@mitohp.jp

